

日本健康体力栄養学会誌
(JAPANESE JOURNAL OF HEALTH, FITNESS AND NUTRITION)

投稿規定

1. 投稿の資格

本誌への投稿は、原則として本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が原稿を依頼した場合はその限りでない。なお、筆頭著者または投稿論文責任者は本学会員であること。

2. 投稿原稿の執筆と種類

原稿は、執筆要領に従い日本語あるいは英語で執筆する。投稿原稿の種類は、総説、原著、短報、速報、実践報告および情報広場とし、他の学会誌に未掲載のものであり、かつ投稿中でない未発表のものに限る。

〔種類の概要〕

総説：特定の研究テーマに関連するこれまでの研究論文を総合的に論じたものや解説したもの。

原著：独創的で新たな知見をまとめた論文。

短報：独創的かつ価値がある情報が含まれており、原著に準じた論文。

速報：独創的かつ価値がある情報が含まれており、学術的に速やかな報告を要するもの。

実践報告：研究するうえで役に立つ手法の紹介、技術の工夫や開発に寄与する実践的な報告。

情報広場：内外における学会・シンポジウムのトピックスをはじめ、本学会に寄与する幅広い情報の紹介など。

3. ヒトを対象とした研究および動物実験における倫理基準

ヒトを対象とした研究は、世界医師会総会にて承認されたヘルシンキ宣言（1964年承認、2008年修正）の精神に則り、「疫学研究に関する倫理指針」（2008年文部科学省・厚生労働省告示第1号）、「臨床研究に関する倫理指針」（2008年厚生労働省告示第415号）に従って行われていること。また、動物を用いた研究は「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（2006年4月28日環境省告示第88号）等を遵守して行われていること。

4. 原稿執筆要領

1) 原稿の作成

すべての原稿は、A4用紙に横書きで作成する。和文の場合は、句読点を「。」と「、」にする。英文の場合は、アメリカンスタイルとする。項目分けはI, 1, 1), (1),

①の記号の順に用いる。上下左右には30 mmの余白をとる。原稿の長さは、原則として総説、原著論文ともに刷り上がり10ページ以内とする。短報、速報、実践報告は刷り上がり5ページ以内とする。

2) 原稿の表紙

表紙には以下を記載する。

- (1) 原稿の種類
- (2) 表題
- (3) 著者名
- (4) 所属
- (5) Key word (3-5語、カンマで区切る)
- (6) ランニング・タイトル
- (7) 別冊希望部数 (実費著者負担)
- (8) 投稿論文責任者の氏名および連絡先 (所属機関、住所、電話、ファックス、e-mail、もしあれば編集者へのコメント)
- (9) 英文論文および要約 (英文) については、英文チェック済みであることを示すために、チェックを受けたネイティブの氏名または会社名

和文の場合、(2)~(5)は英文を併記すること。

3) 論文の構成

原著論文の構成は、要約・緒言・方法・結果・考察・引用文献とする。原著論文以外の論文の構成はこの限りでない。

4) 要約

原著論文に付される要約は、本文が和文、英文のいずれの場合も、英文700 word程度で記載する。

5) 図表 (写真)

和文、英文ともに図表 (写真) にはそれぞれ数字で通し番号を付けて別紙に作成し、挿入すべき位置を赤字で本文の欄外に指定する。図表 (写真) には必ず表題を付け、原則として図 (写真) は下に、表は上に記入する。図 (写真) を他の文献から転載する際には、転載許可を取得しておかなければならない。原図の大きさはA4版で明瞭に印刷すること。写真の場合は白黒で明瞭なものに限る。なお、提出された図表が特殊な場合には、その印刷に関わる経費は著者の実費負担とする。

6) 引用文献

引用文献は、本文では引用箇所の右肩に半角の上付き番号を片括弧を付けて記し、引用文献欄に引用順に掲載する。引用文献欄における著者名は全員の記載を原則とするが、多数の著者による文献を引用する場合は、第3著者までを記載し、第4著者以後の著者を省略してもよい。この場合、和文では「ほか」、英文の場合は「et al.」とする。引用文献の記載形式については、雑誌の場合は「著者名:表題、雑誌名、巻、頁一頁、発行年」の順とする。雑誌の略名は、当該雑誌における記載方法に準ずる。書籍の場合、単著者による書籍ならば「著者名:書名、引用頁一頁、発行所、同所在地、発行年」とし、編著者ならば「執筆者名:分担章表題、編者名:書名、章頁一頁、発行所、同所在地、発行年」とする。以下に引用文献の記載例を示す。

[引用文献記載例]

- 1) 松本和興, 石橋彩弥, 青地克頼, 川崎直人, 中村武夫, 棚田成紀: 青年女子の行動体力に及ぼす有酸素・軽レジスタンス運動負荷および抗酸化ビタミン併用付加の影響に関する研究. 健康・体力・栄養, **10**, 45-54, 2004
- 2) Holfman RE: The use of epidemiology data in the courts. *Am J Epidemiol*, **60**, 116-129, 1984
- 3) Ramsdale SJ, Bassey EJ: Changes in bone mineral density associated with dietary-induced loss of body mass in young women. *Clin Sci*, **87**, 343-348, 1994
- 4) Rockwell JC, Sorensen AM, Baker S, et al.: Weight training decreases vertebral bone density in premenopausal women: A prospective study. *J Clin Endocrinol Metab*, **71**, 988-993, 1990
- 5) 山地啓司: 最大酸素摂取量の科学. p.121-125, 杏林書院,

東京, 1992

- 6) 樋口 満: アスリートの食生活の重要性－欧米と日本の食生活との違い－. 小林修平: アスリートのための栄養・食事ガイド. p.14-17, 第一出版, 東京, 2005
- 7) Hultgren HN: High Altitude Pulmonary Edema. p.437-469, Dekker, New York, 1978

5. 原稿の送付

投稿する原稿は、正本とそのコピー2部を下記の原稿送付先に書留郵便により送付する。

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3-7-30

大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻内 日本健康体力栄養学会編集委員会
小川由紀子

6. 投稿原稿の採否

投稿原稿は、複数の査読委員によって査読され、編集委員会がその採否を決定する。受理された投稿原稿は、原則返却しない。査読の結果、受理不相当と判定された原稿についてはそのすべてを返却する。

7. 校正

初校は著者校正とし、印刷による誤り以外の追加・削除は認めない。

8. 掲載原稿の著作権

掲載原稿の著作権は日本健康体力栄養学会に帰属する。

9. 投稿・掲載料

掲載料は6頁まで20,000円とし、超過分は1頁当たり5,000円を著者負担とする。